



I 調査概要

1 調査の目的

この調査は東郷町の今後のまちづくりの指針（第5次東郷町総合計画）を策定するための基礎資料として、東郷町の町民からみた町政についての評価を把握するために実施した。

2 調査の方法

(1) 調査地域	東郷町全域
(2) 調査対象	東郷町に在住する満18歳以上の住民
(3) 対象者数	5,000人
(4) 抽出方法	無作為抽出
(5) 調査方法	郵送配布・郵送回収
(6) 調査時期	平成21年1月

3 回収結果

(1) 配布数	5,000
(2) 回収数	2,002
(3) 有効回収数	2,002
(4) 有効回収率	40.0%

4 報告書の見方

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、パーセントの合計が100%にならないこともある。
- (2) 複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数（票数）とし、その項目を選び○印をつけた人が全体からみて何%なのかという見方をした。そのため、各項目の比率を合計しても100%とはならない。
- (3) 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載されている場合がある。
- (4) 本報告書のグラフ内では、スペースの都合上、「無回答」の値を省略している場合がある。
- (5) 標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、それは次の公式によって算出することができる。（信頼度95%とした場合）

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1}} \cdot \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

回答率が50% ($P=0.5$) の時、誤差は最大となるため、上記の式に $P=0.5$ 、 N (母集団) =41,418、 n (有効票数) =2002 を代入し、サンプル誤差を求めると、 $\pm 2.2\%$ となる。(全体推計の場合)

例えば、今回の調査の問いにおいて「そう思う」と回答した人が50%だった場合、実際の東郷町に在住する全住民で「そう思う」人は47.8%~52.2%の範囲におさまる確率が95%であることを意味する。

なお、調査数 (n) が少ないほど誤差が大きくなるため、クロス集計の結果等で留意する必要がある。